

# かわぐち

2004. 12月号 No.374

今月号の主な内容

- 中越地震被害状況ほか.....2~4
  - 中越地震状況経過 .....5
  - 復興に向けて作業急ピッチ.....6
  - ボランティアの活躍と  
他市町村からの応援.....7
  - 震災後の除雪作業に協力を.....8
  - トピックス.....9
- ほか

# 新潟県中越地震



天皇・皇后両陛下のご訪問は  
私たちに元気を与えてくださいました。

川口中学校 (11月6日)

## 応援メッセージ紹介

稲刈り体験などで来町したことのある狛江市の各小学校の児童たちが、被災した当町を元気づけるため、書きしたシートを贈ってくれました。児童たちの元気溢れるメッセージは勇気を与えてくれました。ありがとうございました。



## はげましのおたより

川口町の五年生へ  
新潟中越地震  
で大変だね。自然  
災害だから仕方がないけど地震 石んかに  
まげないで前向きにがんばってほしい。  
希望と、気合と、元氣と  
本気、他に頑張る気、やる気、  
覇気という六つの木を  
植えて、がんばってほしい。

埼玉県入間郡大井町立三角小学校  
五年 駒井優一 君

埼玉県大井町立三角小学校  
児童より

被災地の皆様  
突然の出発して今もなお続く  
命震におびえながら生活...  
私には理解し得ないけどご苦労が  
山積かと思いますが、  
手を携えていっしょでもお子様達に笑  
が浮かべていただけたらいいお祈り  
させていただきます。  
幸平のクリスマスには プラチナを  
プレゼントしよう。  
小雀保育園

長野県佐久市小雀保育園  
保護者より

えちごかわぐち物語 '05 冬  
雪洞火ぼたる祭は中止します





▲土砂崩れでテレビ塔が傾く (十八番)



▲蒼丘の杜公園内は通行不能に…



▲傾いた熊野神社 (田麦山地区)



▲真二つに裂けた越後川口駅地下通路



▲道路決壊 (県道小千谷川口大和線、牛ヶ首)

# 震度7の激震 町に甚大な被害

10月23日(土)午後5時56分、中越地方は最大マグニチュード6.8の地震に襲われました。当町では震度7が観測され、家屋の倒壊により4人が死亡、住宅の7割を超え、001棟が全半壊(11月26日現在)するなど深刻な被害をこうげました。また全町で電気・ガス・水道の供給が停止し、関越自動車道をはじめ、国、県、町道も寸断され、JR上越線・飯山線も大きな被害を受けたことから町は一時孤立状態になりました。町では直ちに災害対策本部を設置し、全町に避難勧告を発令し、5,692人が避難しました。

## 生活再建支援と 一日も早い復興に向けて

川口町長 星野和久

この度の中越地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。  
10月23日午後5時56分、未曾有の大地震が中越地方一帯を襲いました。当町では4名の尊い命が失われ、住宅の7割が全半壊するなど、私たちの生活を支えていたあらゆる機能が停止し、かつて経験したことのない大変な状況に直面いたしました。  
地震発生から一月余り。全国から寄せられた温かい励ましに支えられながら、陸上自衛隊や消防、警察など関係機関の皆様、県職員や県内外の自治体職員、医療機関の職員の皆様、ボランティアの皆様からお力添えをいただき、復旧に向け全力を挙げて取り組んでまいりました。  
この間、地震発生直後から避難生活を続けながら辛抱強く復旧を待ち、地域一丸と

なっており、被災者の方々の生活再建支援と、降雪期を前にして生活道路の早期復旧、除雪体制の確保に万全を尽くしてまいります。  
また地震により観光施設や農業関連施設、商工業など壊滅的打撃を受ける中、復興は並大抵のことではありませんが、国・県に対し効果的な支援を強く要望しながら、一日も早い復興に向けて町民の皆様と一緒に全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、御理解と御協力をお願いいたします。  
12月に入り日に日に寒さも増してまいります。町民の皆様におかれましては、くれぐれもお健康に御留意されますようお願いいたします。

## 震度7の地震で全戸に 避難勧告

10月23日(土)の本震で、当町では震度計による計測震度が観測史上初めて震度7を記録しました。また余震も震度5以上が続けて発生し、被害を大きくしました。  
町では午後7時に災害対策本部を設置し、町消防団や町職員を中心に被害状況や危険箇所の確認を行うとともに、余震などで家屋倒壊の危険性があることから午後7時30分、町内全世帯(1,595世帯)に避難勧告を発令し、全町民(5,692人)に住宅からの避難を呼びかけ、被災者保護の対策に取り組みしました。

不能の状態が続き、またJR上越線や飯山線も線路や駅舎、トンネルなどで大きな被害を受け運休が続いています。  
避難勧告、避難指示を相次いで発令

余震が続くなか10月26日午前8時55分、和楽美の湯の建物が傾き倒壊のおそれから川口1の一部(40世帯、131人)に避難指示を発令(10月28日解除)、同日午後12時50分には土砂崩れによる相川川の河道閉塞形成による土石流発生の危険から小高、向山地区(32世帯、131人)に避難勧告を、木沢トンネル崩落のおそれから峠地区(3世帯、16人)に避難指示を発令しました。

## 地震の深い爪あと

ライフライン(電気・ガス・水道・下水道)は全地域で供給がストップ。国道17号は、和南津トンネルの崩落、天納付近の土砂崩れや陥没などで通行止め(小千谷市方面は10月27日、魚沼市方面は11月2日に通行止め解除)になり、県道や町道も各所で通行

11月16日、ようやく余震活動も沈静化し、町民の安全確保とライフライン(電気・ガス・水道・下水道)の復旧に目途がついたことから、一部地区(峠、荒谷、小高と向山の一部)を除き、1,537世帯、5,456人に避難勧告が解除されました。



### 10・23 中越地震状況経過

- 10月23日
  - 午後5時56分 中越地震発生
  - 午後7時00分 災害対策本部設置
  - 午後7時30分 全戸に避難勧告 (1,595世帯、5,692人)
- 10月25日
  - 陸上自衛隊派遣される
  - 独立行政法人国立病院機構他災害支援医療チーム来町診療開始
- 10月26日
  - 午前8時55分 川口1の一部避難指示 (40世帯、131人、10月28日解除)
  - 午後12時50分 小高、向山地区の一部が避難所を移動 (小高地区…25世帯、106人) (向山地区…7世帯、25人、11月28日解除)
  - 午後1時20分 峠地区に避難指示 (3世帯、16人)
- 10月27日
  - 魚野川河川敷に臨時入浴施設を設置
  - 災害救助法の適用決定 (適用年月日 10月23日午後6時)
  - 国道17号小千谷市方面一般車両通行止め解除
- 10月30日
  - ごみの収集開始
  - 川口町災害ボランティアセンター設置
- 10月31日
  - 全町で電気が概ね復旧 (小高、中山の一部除く)
- 11月1日
  - かわぐち地震災害対策広報 (第1号) の発行
- 11月2日
  - 仮設住宅の入居、家屋の取崩しなどの相談受付を開始
  - 国道17号魚沼市方面一般車両通行止め解除 (片側交互通行)
- 11月3日
  - 24時間対応診療所開設 (町内5地区)
- 11月4日
  - 家屋被害調査の開始
  - 仮設住宅入居申込開始 (15日まで)
- 11月6日
  - 天皇・皇后両陛下が被災者をお見舞い (川口中学校体育館)
- 11月8日
  - 町内全小中学校が授業再開
  - 川口中学校グラウンドで仮設住宅建設に着工
- 11月12日
  - 町民震災相談窓口開設
- 11月13日
  - JR上越線代行バス運行開始
- 11月16日
  - 午後2時 峠・小高・向山・荒谷地区を除き避難勧告解除 (解除地区1,537世帯、5,456人)
- 11月17日
  - 特定非常災害指定
- 11月20日
  - 罹災証明発行開始
- 11月22日
  - 一時保育再開
- 11月25日
  - 仮設住宅入居説明会 (~26日)
  - 生活支援制度、応急修理制度相談開始 (~12月1日)
- 11月26日
  - 激甚災害指定

### 避難所での生活

地震発生直後は50カ所以上の避難所や車庫、自家用車などに全町民の5,692人が避難しました。



川口中学校体育館

### 心強い応援

陸上自衛隊は避難者の食事の炊き出し作業や避難テント、簡易浴場の設置、家屋の解体作業などにあたり被災者にとって心強い支援になりました。また消防署や警察署なども昼夜問わず、警戒にあたり町民の安全を守っていただきました。

自衛隊の家屋解体作業



### 医療チームの活躍

国立病院機構や静岡県、長野県など全国各地の病院から医療班が訪れ、町内5カ所の避難所で24時間体制の診療と各避難所への巡回診療を行い、震災による負傷、病気などの治療、健康相談にあたりました。また精神科医らでつくる心のケアチームも巡回し不眠などに悩む人の相談に応じました。

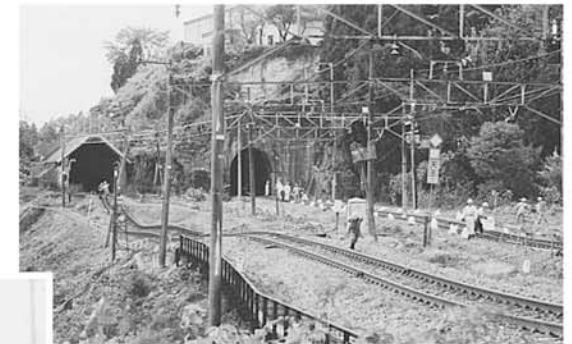


田麦山小学校に設けられた救護室



基礎部分が沈んだしみず団地1号棟

田の崩落で農地に深刻な被害 (貝の沢地区)



線路が大きく歪む (JR上越線)



▲家屋の被害は全半壊で、1,672棟になった (田麦山地区)

大きな段差で一時不通になった和南津橋



### 被害総額およそ503億円

町災害対策本部の調べでは、被災箇所は町道、林道合わせて230カ所以上、農地や農道、揚水機場など農業関連施設は270カ所以上にのぼり甚大な被害を受けました。このほか、個人所有の住宅等の施設、学校や役場、生涯学習センター、集会施設等の公共施設、着丘の杜公園内の観光関連施設、町営住宅、ガス・水道・下水道施設、商店や工場等の施設の被害などに加え、観光や農業、商工業などの経済的損失を合わせるなど、被害総額は約503億円に達するものと見込まれています。

### 人的被害状況 (11月26日現在)

死者	行方不明者	負傷者
4人	0人	52人

### 住宅被害状況 (11月26日現在)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし
570棟	110棟	321棟	359棟	32棟

※個人所有の棟数です

### 非住家(作業所、車庫等)被害状況 (11月26日現在)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし
441棟	50棟	180棟	471棟	395棟

※個人所有の棟数です

### 災害救助法の適用決定特定非常災害、激甚災害に指定

10月27日、「災害救助法」の適用が決定、自衛隊による避難所の設置や炊き出しなどの食品、飲料水の給与、医療班の派遣など被災者の救助や支援が強化されました。11月17日、「特定非常災害」に指定され、運転免許証の有効期限の延長など被災者の権利利益の保全等が図られることになりました。また11月26日、「激甚災害」に指定され、公共土木施設や農地などの災害復旧に対する特別措置や中小企業に関する特別措置などが講じられることになりました。



# 復興に向け作業急ピッチ

地震により大打撃を受けたライフライン（電気、ガス、水道、下水道）や道路は冬季の除雪作業などをスムーズに行うため、降雪前の復旧に向けて各関係機関からの多大な応援をいただき、急ピッチで作業を進めています。

また仮設住宅は11月8日から川口中学校グラウンドで建設が始まり、各地区で10カ所、412戸が建設され、12月2日には川口中学校、木沢、和南津で入居が始まります。



▲復旧作業は急ピッチで進む



◀ガスの復旧工事



◀電気の復旧作業 全町で概ね使用可能

## 支援を強く要望

星野町長は11月25日、県庁を訪れ、県に応急修理支援制度の拡充と高齢者などの住宅を確保するための公営住宅の設置、小高地区集落移転の支援を要望しました。

## 復興に向けた

### 今後の対応

震度7の地震に見舞われた当町が復興するためにはまだ相当な期間を要する見込みです。

町では次の内容を重点に復

興を進めていきます。

- ライフライン（水道・下水道・ガス）の早期全面復旧
- 道路の復旧
- 道路除雪体制の確立
- 農地農業用施設の復旧
- 被災者の生活面への支援（特に健康保持・疾病の予防）
- 個人・企業の経済活動への支援

今後も復旧に向けて全力で取り組んでいきます。皆さんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。



▲県道小千谷川口大和線の復旧工事

# 各地区でボランティア活動

地震発生直後から多くのボランティアが全国各地から訪れています。10月30日、被災者の生活支援や復興活動への協力を円滑に行うため川口町災害ボランティアセンターを特別養護老人ホーム「あおりの里」前に設置しました。

学生やボランティアグループなど、1日に800人を超えるボランティアが活動する



日もあり、11月20日にはボランティア参加者が延べ1万人を超えました。

お年寄りの話相手や肩もみ、入浴介助、子どもたちとの遊び、疲れた体を癒すマッサージ、被災家屋内の片付けやがれきの撤去など精力的に取り組んでいます。



町老人クラブ連合会では、災害応援に来ていただいたボランティアのために町の案内をしました。（写真はボランティアセンター案内所にて）

## 全国各地から支援物資届く

地震発生直後は、関越自動車道、国道、県道など主要道路、幹線道路がすべて寸断され、物資が全く手に入らない状態になりました。その後空輸などで支援物資が送られ、道路が復旧したあと全国各地から多くの物資が届きました。当初は水や食料、毛布などが中心でしたが、その後は衣服や医療品などが届き、住民の物資不足の不安は少しずつ解消されてきました。



# 復旧に向け他市町村から応援

## 地震発生直後から迅速な支援活動

### ふるさと友好都市「狛江市」

狛江市は、当町と相互防災協定を結んでいます。地震発生の翌日にはいち早く市職員が駆けつけ、救援物資やテント、簡易トイレの提供など、その迅速な対応が震災直後の混乱の中、とても心強い支援となりました。

その後も役場前に狛江市災害救援本部を設置し物資の搬送や公共施設の片付けなどのほか、生活支援制度等の相談業務などにも多大な応援をいただいています。

また、狛江市民まつりや広報紙で義援金を募っていただき、同市民の皆さんをはじめ、市議会議員、市職員の皆さんから多額の義援金をいただきました。





# 震災後の降雪期を迎え、除雪作業で協力をお願いします。

地震発生から1カ月が過ぎ降雪期を迎えました。町では冬期間の道路交通確保計画を作成し、皆さんの安全な生活と道路確保のため、除雪体制を整えました。効率的で安全な除排雪を行うために、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



## 概ね従来通りの路線で除雪を実施

地震の影響で陥没や崩落した道路の復旧も進み、国、県、町道の主要道路をはじめとする道路は、大きな被害を受けなかった路線を除き、概ね従来通りの除雪を計画しています。  
※一部の消雪パイプの被害により機械除雪に変更する場合があります。

## 避難勧告の出ていない地区の除雪は

引き続き避難勧告の出ている地区については日中に除雪を行います。今後の道路状況などにより、除雪計画が変更になる場合があります。

## 仮設住宅の除雪は

建設された全部の仮設住宅地については除雪場所は駐車場をはじめとする住宅の周辺です。

## 出動は降雪10センチです

町では、降雪量が概ね10cm以上の場合に道路の除雪作業を行います。効率的に進めるため、次の区分で除雪を行います。冬期間の交通確保のため万全を期す計画です。

### ●車道除雪

第1種除雪路線：早朝、日中とも一車線の幅員を確保し、常時交通を確保する路線です。  
第2種除雪路線：大雪の場合や異常降雪時には、早朝除雪の中止又は一時的に交通不能

## 雪崩などには十分注意を

地震などの影響で地盤が緩み、降雪により土砂崩れや雪崩などが発生する可能性があります。土砂や道路崩落場所など危険な場所には絶対に近づかないでください。また雪庇のせり出しや雪崩の危険箇所などを発見した場合には速やかに役場へ通報してください。

連絡先  
建設企業課 ☎89-3114

## 除雪に関する問い合わせ

- 町道 建設企業課 ☎89-3114
- 防雪サブセンター ☎89-3711
- 県道 小千谷維持管理事務所 ☎83-0855
- 川口除雪ステーション ☎89-2052
- 国道 国土交通省長岡国道事務所 小出維持出張所 ☎025-792-0839

復興を目指して！

# HOT トピックス

たくさんの皆さんから心温まる応援をいただいています

## 長野県から被災地支援に 絵本バスがやってきた

11月6日、長野県から被災地を支援するために、移動図書館バス「おはなしパケット号」が和南津集落センターと泉水小学校を訪れ、絵本の読み聞かせを行いました。このパケット号の中には、約500冊の本が積んであり、子どもたちはたくさんの絵本に大喜び



▲移動図書館「おはなしパケット号」



▲子どもたちはたくさんの絵本に大喜び

り、子どもたちはたくさんのおはなしを楽しそうに読んでいました。また、クレヨンや色鉛筆、スケッチブックなどがプレゼントされ、子どもたちはこれらを使って描いた絵を見せ合っていました。

## 七五三の記念に 子どもたち大喜び

11月6日、役場前において七五三を迎えた子どもたちに千歳あめと記念写真がプレゼントされました。

これはふるさと友好都市・狛江市が七五三の記念と被災した子どもたちを元気づけるために行ったものです。

子どもたちは、千歳あめをおいしそうに舐めたり、記念写真を友だち同士で見せ合っていました。



▲嬉しい千歳あめのプレゼント

## 自衛隊音楽隊の演奏で元気に



▲川口中学校で演奏会

11月14日、陸上自衛隊東方面音楽隊による演奏会が町内の田麦山小学校、川口中学校、役場前の3会場で行われ、「佐渡おけさ」や「世界に一つだけの花」などが演奏されました。ペ・ヨンジュンに似た演奏者の紹介時には会場から歓声があがっていました。

また11月21日には陸上自衛隊第12音楽隊の演奏会が旧木沢小学校体育館において行われました。演奏会はそれぞれの避難者を元気づけてくれました。

## 小・中学校、保育園が再開しました

11月8日、地震発生から休校になっていた町内4小・中学校が授業を再開しました。当日は避難訓練が行われ、児童たちはグラウンドに走って避難。その表情は真剣でした。11月15日からはおにぎりなどの簡易な給食が再開、午後の授業も行われました。



▲川口小学校で再開した授業